

# 予算

令和6年度

## 総額 178億3,046万円

### ～ 村田町長施政方針 町予算のポイント ～

#### 誰もが安心して暮らせるまちづくり

●自分らしく、いつまでも暮らせる  
まちづくり **3,496万円**

脱炭素の推進、ごみ出し困難高齢者支援、タクシーによる高齢者移動支援施策充実、フレイル予防推進、特定健診受診率向上事業 他

●こどもまんなか社会の実現に向けた  
支援の充実 **2億4,039万円**

こども家庭センター設置、こども医療費助成対象年齢拡大、多胎児妊婦健診（妊婦健診追加補助）、中学校給食費完全無償化・小学校給食食材費補助、山西小学校北棟校舎外壁等改修工事 他

●いつ起こるか分からない災害に備えた  
環境整備 **5億3,075万円**

役場新庁舎整備、消防庁舎大規模改修事業、災害対応特殊救急自動車導入、個別避難計画作成推進 他

●活力があふれる持続可能なまちへの  
「変革」 **2,296万円**

デジタル化推進計画に基づく取り組み、デジタル人材育成、二宮ブランド知名度アップ・湘南オーリーブオイル地域団体商標登録、農業振興環境整備推進 他

#### 賛成・反対討論

賛 成	反 対
気候非常事態宣言アクション・協働の子どもの権利条例制定の2つのアイコン持って環境、教育、福祉とつながる千年続く二宮の住民参画の未来展望する町づくりの鉤脈活かせ。(一石)	物価高騰の中、国保税・介護保険料の上げはくらしを壊す。小学校の給食の無償化、担い手育成強化などの課題が積み残された。学校統廃合には町民の合意形成が必要だ。(渡辺)
中学生給食費の完全無償化や温水プール跡地等の市場活用可能性の調査委託料等の重要な予算計上、デジタル人材の育成、小学生給食費無償化に向け検討することを評価する。(古谷)	敬老祝金の見直しで、突然の減額は納得がいかない。予算書には減額された金額が既に明記され、拙速な議会軽視かともとれるような進め方だ。同時に町内の経済効果をも失う。(浜井)
新たな福祉事業を展開するが、敬老祝金の減額等承服しかねるが、小児医療費無償化の拡充、中学生の給食費無償化、消防庁舎大規模改修・高規格救急車の充実等を評価し賛成。(前田)	複数施設建設で近年に100億超えの実負債を予測。民意や町づくりを軽視する暴走行政では二宮の魅力を欠く事になると感じ不安。果樹公園隣接には争いがあり説明と理解が必要。(大沼)
予算には物価高騰対策に加え子育て、暮らし、デジタル化等18の新規事業が組み込まれ、社会情勢変化に対する行政サービスや機能整備など将来期待できる事業内容を評価した。(岡田)	施政方針が示すベクトルは誤り。一色小単級化は山西小との統合により解決を。空き校舎の庁舎利用の検討を。夫々の合理性を示す論文、文科省文書が存在する。町長は一読を。(松崎)
高齢者の困りごとであるゴミ出し、移動手段に一步踏み出した点。役場新庁舎等の整備費を計上しなかった点。給食費無償化は移住子育て世帯へもアピール大であること等。(野地)	

# 一般会計は、賛成 **9** 反対 **4** で可決

## 予算総額・構成比・対前年比較

区分	令和6年度	構成比	前年対比伸率
一般会計	93億6,700万円	52.5%	4.3%
特別会計	69億5,694万円	39.0%	2.5%
国民健康保険	27億9,697万円	15.7%	△2.0%
後期高齢者医療	10億7,258万円	6.0%	5.2%
介護保険	30億8,739万円	17.3%	5.8%
企業会計	15億 652万円	8.5%	4.8%
下水道事業会計			
合計	178億3,046万円	100%	3.6%

## 町の貯金(基金)状況(一般会計において)

財政調整基金約2億3千万円、公共施設整備基金約8千万円ほか計3億1,600万円を取り崩す一方、庁舎整備基金へ9千万円を積み立て、令和6年度末の基金総額は23億3,458万円となる見込み。

## 予算審査特別委員会

委員長：羽根かほる(副議長)

副委員長：小笠原陶子(総務建設経済常任委員長)

総務建設経済常任委員会：小林幸子、渡辺訓任

教育福祉常任委員会：松崎健、前田憲一郎、野地洋正

※ 総務建設経済常任委員長を含め、両常任委員会より3名に副議長を加えた計7名で構成



予算審査特別委員会最終日

## 令和6年度 予算審査意見

- ① 地域経済・公共交通は、地域との話し合いを密に行い広域行政の課題として推進されたい。
- ② 個別避難計画は、町が主導的立場で各課連携のもと、地区に過度の負担を強いることなく早期の作成を図られたい。
- ③ 地域活動は、各地区の情報共有を進め役員の負担軽減を図られたい。
- ④ 保育事業は、0歳～3歳児の手厚い仕組み作りを進めるとともに、保育所入所は、点数化など優先度を明確にされたい。
- ⑤ にのみや学園は、児童・生徒を第一とした小中一貫教育校とし、地域住民や保護者へ速やかに十分な説明をされたい。
- ⑥ タクシー利用料金助成事業は、社会情勢を鑑み使用制限を見直すなど、更なる負担軽減を図られたい。
- ⑦ ガラスのうさぎ像平和と友情推進事業は、子どもたちのアイデアを生かし一緒に参加できる仕組みを検討し、新たな視点で事業を見直されたい。
- ⑧ 町民温水プール跡地の利用方法は、施設が荒廃する前に早期決定に努められたい。
- ⑨ 町全体のスポーツイベントの中止・存続及び新事業は、町民の意見を広く聴取し、理解を得て進められたい。